

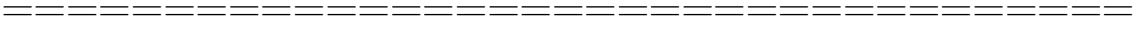


電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)  
 ニュースレター (2023 年度 No.1)  
<http://www.hcg-ieice.org/archives/newsletters/>



～ 目次 ～

- ◆2023 年度運営委員長からのご挨拶
- ◆FIT2023(第 22 回情報科学フォーラム) 開催のご案内
- ◆HCG シンポジウム 2023 開催のご案内
- ◆2023 年ソサイエティ大会企画セッションのご案内
- ◆研究会活動紹介 (LARC)



2023 年度運営委員長からのご挨拶

委員長  
 和田 親宗 (九州工業大学)

電子情報通信学会・ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG), 2023 年度の運営委員長を務めます九州工業大学の和田親宗です。まず簡単に自己紹介をさせていただきます。福祉工学に関する研究をおこなっており、当事者の能力等を活かす方向で、かつ、工学的支援が少なくなるような方向で、情報提示技術や機器制御技術の開発を進めています。電子情報通信学会の運営には、和文論文誌 D の編集委員長や福祉情報工学研究会 (WIT) の委員長の立場で携わってきました。一昨年度から、HCG の運営に加わり、先達の仕事から様々なことを学んで参りました。今年度は、委員長として、研究会運営の皆様や HCG シンポジウム担当の皆様が仕事を進めやすくなるよう、微力ではありますが務めて参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、ご存じのように、COVID-19 により、生活、働き方や教育において多くのことを大きく変えざるを得ませんでした。会議や講義なども含めた様々なことを非接触の遠隔のみで実施となっていました。最近ではハイブリッドを含めた対面が主になりつつあります。ネットショッピングや遠隔会議・遠隔講義のように、遠隔による実施には、時間や移動の制約のなさなど良い点はあります。しかし、対面での対話の際の「空気感 (表情や態度などの雰囲気や想定)」を共有できず、うまく情報が伝わらない等の問題があると考えます。また、対面ではおこないやすい主題以外の会話 (いわゆる雑談) を、遠隔ではおこないづらく、他人とのつながりを深めることや事象の新しい発見は難しいと考えます。

HCG は、豊かなコミュニケーション社会の形成を目指し、人と人、人をとりまく環境とのコミュニケーションに関連する分野横断的な研究調査活動をおこなっています。人文社会の分野、工学分野、医学生理学の分野など様々な研究者や専門家が、研究会やシンポジウムに集い、深い議論をおこなっています。最近では、HCG の研究会やシンポジウムにおいて、上述した遠隔によるコミュニケーションの諸問題の解決を目指した研究の発表もあり、まさに今の時代に必要な研究者・専門家集団であると考えます。

今の時代に必要であり、今後のコミュニケーション社会の発展に貢献する HCG を発展させるため、電子情報通信学会の会員資格の有無を問わず、多様な背景をお持ちの人々が、より集まりやすく交流できる環境を構築して参ります。

皆様の HCG へのご参加をお待ちしております。なお、各研究会の活動予定や HCG シンポジウム（北九州，2023 年 12 月）の予定につきましては、ホームページをご覧ください。また、ニュースレターでも案内いたしますので、未登録の方は、この機会に是非ご登録ください。併せて、興味を持ちそうな方にも、HCG を是非ご紹介いただければと思います。

以上をもちまして、委員長からの挨拶とさせていただきます。  
これから 1 年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

=====

FIT2023(第 22 回情報科学フォーラム) 開催のご案内

企画幹事  
赤坂 文弥 (産総研)

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)、情報・システムソサイエティ (ISS) と情報処理学会 (IPSJ) が共同して主催する、FIT2023 (第 22 回情報科学技術フォーラム) についてご案内いたします。

- ・会期：2023 年 9 月 6 日 (水) ～8 日 (金)
- ・会場：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス (ハイブリッド開催)

2002 年から毎年開催されている本フォーラムは、IPSJ 全国大会と ISS ソサイエティ大会の流れを汲むものです。従来の学会大会の形式にとられない試みを新たに導入しており、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流などを実現しています。FIT2023 は、ハイブリッド形式での開催を予定しています。リアルな発表形式の良さを取り入れつつ、オンラインでの地理的な制約の無い参加も可能となります。

FIT2023 では 3 日間に渡って、船井業績賞受賞記念講演、特別講演といった数多くの企画イベント、研究者らによる研究発表、トップコンファレンスセッションといった多彩なセッションが繰り広げられます。特に、FIT2019 より新設された「トップコンファレンスセッション」は、各分野におけるトップレベルの国際会議・学術雑誌にここ数年以内に採録された論文について、著者ご自身からご紹介頂くものです。FIT2023 では、計 98 本の研究を関連分野ごとに 17 個のセッションでご講演頂きます。他にも、以下のような情報科学技術に関する様々なテーマによる発表会・研究会企画によるイベントが開催されます。是非ご参加下さい。

【9 月 6 日 (水)】

- ・ 際を究める ～「×情報学」による分野横断型研究@OMU
- ・ Vision-and-Language の最前線
- ・ トップコンファレンス (データベースとデータサイエンス, 教育学習支援情報システム, コンピュータビジョンとパターン認識 1, 行動認識, ソフトウェア, ヒューマンコンピュータインタラクション)
- ・ [無料公開] AI TECH TALK
- ・ [無料公開] インダストリアルセッション
- ・ [無料公開] IT 情報系キャリア研究セッション

【9 月 7 日 (木)】

- ・ FIT2023 船井業績賞受賞記念講演「データベースシステムとの 40 年の悪戦苦闘 (仮)」
- ・ [特別公演] 言語モデルに基づく文章生成：成功を支える技術/理論と現在の到達点/注意点
- ・ IoT が拓く未来：～IoT 技術が起こす近未来の社会変革とは～

- ・ 学術変革(A) アルゴリズム基盤 (AFSA プロジェクト)「グラフ数え上げ国際競技会」開催報告シンポジウム
- ・ トップコンファレンス (機械学習, コンピュータビジョンと文化遺産, セキュリティと暗号, 画像工学 1, ハードウェアと量子コンピューティング)
- ・ [無料公開] IT 情報系キャリア研究セッション
- ・ [無料公開] 情処ラジオ

【9月8日(金)】

- ・ Society 5.0 社会のためのコンピューティング技術をどう生かすか?
- ・ アルゴリズム運用と法律の関係
- ・ トップコンファレンス (コンピュータグラフィックス, ハードウェア, マルチメディア, 画像工学 2, ネットワークとセキュリティ, コンピュータビジョンとパターン認識 2)
- ・ [無料公開] 高校情報科の現状と次期改定
- ・ [無料公開] デジタルプラクティス Plus+

最新情報につきましては以下をご覧ください。

- ・ FIT2023 公式ページ :

<https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2023/index.html>

- ・ FIT2023 プログラム :

<https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2023/program.html>

=====

HCG シンポジウム 2023 開催のご案内

企画幹事  
三上 弾 (工学院大)

HCG シンポジウムは今年度で 21 回目を迎えます。工学分野だけでなく、ヒューマンコミュニケーションに関係が深い、心理学・認知科学、社会科学、生理学、デザイン学など幅広い分野の研究者が参加しやすい、活発な議論の場を提供してきました。COVID-19 の流行によるオンライン開催が続きましたが、昨年度より対面での議論が復活しました。

卒業研究を一足早く議論する場としても最適です。投稿・参加を是非ご検討ください。また現在、特集テーマセッションおよび特別セッションの企画を募集中です(9月上旬締切予定)。併せて是非ご検討ください。

【開催案内】

会場：北九州観光コンベンション協会 AIM3F (福岡県北九州市)

会期：2023 年 12 月 11 日(月)～2023 年 12 月 13 日(水)

発表申込開始：8 月上旬(予定)

発表申込締切：9 月 13 日(水) 23:59 JST (予定)

発表原稿締切：10 月 16 日(月) 23:59 JST (予定)

予稿集公知：12 月 4 日(月) (予定)

※ 最新情報につきましては以下をご覧ください

- ・ HCG シンポジウム 2023 公式ページ

<https://www.hcg-ieice.org/hcg-symposium/2023>

=====

2023年ソサイエティ大会企画セッション「以心伝心へのアプローチ ～セマンティックコミュニケーションの技術と動向～」のご案内

企画セッションオーガナイザ  
酒向 慎司(名古屋工業大学)

-----

HCG では通信ソサイエティのコミュニケーションシステム (CS) 研究会と共同で 2023 年ソサイエティ大会 (9/12～15・名古屋大学) の企画セッション「以心伝心へのアプローチ ～セマンティックコミュニケーションの技術と動向～」を提案いたしました。HCG は多くの学会との連携が盛んに行われていますが、この度は新たな試みとして、電子情報通信学会内部での連携を模索しました。コミュニケーションとは何か、を通信分野の方を交えて改めて考え、議論する場にできればと思います。奮っての参加をお待ちしております。

**【会期】**

2023年9月12日(火) 13:00～17:00

**【企画セッションの趣意書】**

本企画セッションは、これまでの電氣的・光的な手段を用いて行われてきた“コミュニケーション”(電気通信・光通信)という範囲に留まらず、認知心理学、脳神経科学、社会学等の幅広い分野の観点から、情報だけでなく「意図」をも共有する手段であるという“コミュニケーション”の本質に焦点を当て、新たな研究領域の開拓へ役立てることを目的とする。今後のIoTやAIの相乗による知的機能の適用が日常的となる社会を想定し、従来の研究の枠組みを広げてセマンティックコミュニケーション (SemCom) に焦点を当て「意図」=「意味」+「心」を共有するコミュニケーションシステムを創ることに注目したい。

**【プログラム】**

第1部 人々の関係を紡ぐコミュニケーション 渡辺 昌洋 (NTT)

第2部 認知的視座から考究するコミュニケーションとインタラクション  
竹内 勇剛 (静岡大学)

第3部 コミュニケーションにおける2者間の行動リズム同期と脳波リズム同期  
川崎 真弘 (筑波大学)

第4部 心が通うパートナーロボットの実現に向けて  
神原 誠之 (奈良先端大学)

第5部 画像伝送向け情報源通信路深層結合符号化技術  
久野 大介 (大阪大学)

**【詳細】**

企画セッション概要 (電子情報通信学会ソサイエティ大会サイト)

[https://www.ieice.org/jpn\\_r/activities/taikai/society/2023/session\\_BI-4.html](https://www.ieice.org/jpn_r/activities/taikai/society/2023/session_BI-4.html)

---

---

研究会活動紹介 (LARC)

LARC 委員長  
酒向 慎司(名古屋工業大学)

---

リアルタイムコミュニケーション第 3 種研究会 (LARC)は、手話関係の研究、聴覚障害者支援、言語学的な研究者を中心に学際的に手話を中心としたマルチモーダルコミュニケーションのメカニズム解明のためのコミュニティ形成と意見交換の場を提供することを目的として、2016 年 7 月に発足しました。

手話は言語であるにもかかわらず、音声言語と比べて言語学、工学を含む関連諸分野での研究が進んでいない現状があります。この理由は、手話研究者が少ない、専門領域を超えたまとまったコミュニティが存在しない、研究に興味があっても気軽に利用できる共通の言語データベースが無い、などが考えられます。

そこで、LARC では、さまざまな研究者とともに手話の認識や記述、データベース構築などとテーマのもとで活発な議論を行なってきました。その一環として、手話研究推進のため、言語データベースの構築に取り組み、「工学院大学多用途型日本手話言語データベース (KoSign)」を公開しました。このデータベースは 2017 年度から 2020 年度にわたって行われた文部科学省科学研究費基盤研究(S)の研究成果であり、LARC を中心として、言語資料提供者、語彙の選定方法、データの収集方法、収録データ形式、公開方法などデータベース構築に関する幅広いトピックについて様々な立場の研究者とともに活発に議論しました。

KoSig は 6,000 超の手話単語動作と数対話について、手話ネイティブ家系の日本手話母語者を撮影対象者として、できる限り高精細・高精度のデータを収録したデータセットです。様々な研究用途に利用できるよう、データベースの整理や支援ソフトウェアの整備などを行い、第 1 期版 (2021 年)と第 2 期版 (2022 年)が国立情報学研究所の情報学研究データリポジトリ(NII IDR)を通して提供されています。興味のある方はぜひご検討ください。

<https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/rdata/KoSign/>

今後は、データベースの普及やそれを活用した研究の促進を行いながら、研究者のコミュニティを広げると共に、手話をはじめとするマルチモーダルコミュニケーション言語の機能解明へ貢献できればと考えています。最後に、研究会には手話母語者が参加することもあり、情報保障費も使わせて頂いており、感謝しております。

=====

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事について、  
詳しくは HCG ホームページ <http://www.hcg-ieice.org/> をご覧ください。

-----

□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□  
電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ  
Copyright (c) 2023 IEICE, All Rights Reserved.  
□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

-----

☆e-mailによる情報配信を必要としない方は、その旨 [henkou@ieice.org](mailto:henkou@ieice.org) まで  
会員番号，氏名をご連絡ください。処理に 1ヶ月程度かかりますので，入れ  
違いに，再度情報配信された場合は，ご容赦ください。  
(ご連絡いただいた場合は本会，登録ソサイエティ，グループ，支部，からの  
全ての情報配信が止まりますので，情報配信を再度希望される時も，その旨，  
[henkou@ieice.org](mailto:henkou@ieice.org) までご連絡下さい。)

ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice  
(社) 電子情報通信学会 サービス事業部  
TEL:03-3433-6691 FAX:03-3433-6659